

図 16 カスケード接続の例

本体の任意の RJ-45 ポートに UTP ケーブルを接続し、もう一端を接続先機器の任意のポートに接続します。

8 設定

通信速度 / 通信モードの設定

本製品と接続先機器の通信モードは、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。
IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器のポートの通信モードを Half Duplex に設定してください。

		GS924L
接続先ポート		Auto
10M/ 100M	Half	○
Full	—	
Auto	○	
1000M	Auto	○

9 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LED は点灯していますか?

POWER LED が点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● 電源をオフにした後、すぐにオンにしていませんか?

電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

● LINK/ACT LED は点灯していますか?

LINK/ACT LED は接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

12 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

<http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/>

0120-860772

携帯電話 / PHS からは：045-476-6203
月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00
13:00～18:00

13 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。

なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

● ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

特定のポートが故障している可能性もあります。

○ 接続先機器の通信モードを確認してください。

本製品のポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。

IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品のポートを接続する場合は、接続先機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

10 製品仕様

準拠規格	
IEEE 802.3	10BASE-T
IEEE 802.3u	100BASE-TX
IEEE 802.3ab	1000BASE-T
IEEE 802.3x	Flow Control
適合規格	
安全規格	UL60950-1 CSA-C22.2 No.60950-1
EMI 規格	VCCI クラス A
電源部	
定格入力電圧	AC100 - 120V
入力電圧範囲	AC 90 - 132V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	2A
最大入力電流	0.9A
平均消費電力	45W (最大 48W)
平均発熱量	160kJ/h (最大 170kJ/h)
環境条件	
動作時温度	0 ~ 40°C
動作時湿度	80% 以下 (結露なきこと)
保管時温度	-20 ~ 60°C
保管時湿度	95% 以下 (結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	341(W)x210(D)x44(H)mm
質量	
	2.4kg
スイッチング方式	
	ストア & フォワード
MAC アドレス登録数	
	8K (最大)
MAC アドレス保持時間	
	300 秒
メモリ容量	
	512KByte

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

● 製品について

製品名、製品のシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) などのハードウェア情報をお知らせください。
製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。



図 17 シリアル番号シール (例)

613-000410 Rev.B 071026

ギガビットイーサネット・スイッチ

CentreCOM® GS924L ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM GS924L をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポートを 24 ポート装備したギガビットイーサネット・スイッチです。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

オプション (別売)

- 壁設置用ブラケット AT-BRKT-J22 により、壁面への設置が可能
- マグネット Kit XS により、スチール製壁面への設置が可能
- 電源ケーブル抜け防止金具 AT-RTNR-01 に対応

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

3 梱包内容

- 最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。
- CentreCOM GS924L 本体 (1台)
 - 電源ケーブル* (1本)
 - 専用 19 インチラックマウントキット (ブラケット 2 個、ブラケット用ネジ 8 個)
 - 製品保証書 (1枚)
 - シリアル番号シール (2枚)
 - ユーザーマニュアル (本書)
- * 同梱の電源ケーブルは本製品専用です。本製品以外には使用できませんのでご注意ください。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望れます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。

1 特長

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポートを 24 ポート装備
- 19 インチラックマウントキットを標準装備
- AC 電源を内蔵
- ポートの通信状況が一目でわかる LED を装備
- オートネゴシエーション機能をサポート
- 全ポート MDI/MDI-X 自動切替機能をサポート
- フローcontresole機能をサポート
Half Duplex 時 : パックブレッシャー
Full Duplex 時 : IEEE 802.3x PAUSE
- Jumbo フレーム対応 (9728 Bytes 以下)
- 最大 8 K の MAC アドレスを登録可能

2 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

14 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社 (弊社) の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2006-2007 アライドテレシスホールディングス株式会社

15 商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

16 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書に記載のない分解や改造をしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く感電の原因となります。

ケーブル類を傷つけない特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意

・加工しない、傷つけない。
・重いものを載せない。
・熱器具に近づけない、加熱しない。

・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

正しく設置する 縦置き注意取扱説明書に従って、正しく設置してください。不適切な設置により、放熱が妨げられる、発熱による火災の原因となります。

表示以外の電圧では使用しない火災や感電の原因となります。本製品は AC100-120V で動作します。

設置場所注意

温湿気やほこりの多いところ油煙や湯気のある場所には置かない火災や感電の原因となります。

電圧注意

安全のために

必ずお守りください

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの 3 ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの 3 ピン電源コンセントに接続してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

ケーブル類を傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意

・加工しない、傷つけない。
・重いものを載せない。
・熱器具に近づけない、加熱しない。

・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

正しく設置する 縦置き注意

取扱説明書に従って、正しく設置してください。

不適切な設置により、放熱が妨げられる、発熱による火災の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

・直射日光のある場所

・暖房器具の近くなどの高温になる場所

4 各部の名称と機能

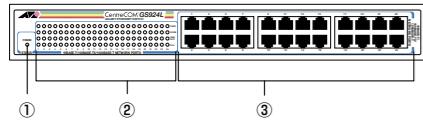


図 1 外観図(正面)

① POWER LED (緑)

本体に電源が正常に供給されているときに点灯します。

② PORT LED

○ 100M、1000M (緑)

100Mは、ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。1000Mは、1000Mbpsで動作しているときに点灯します。100Mと1000Mが消光しているときには、10Mbpsで動作していることを示します。

○ LINK/ACT LED (緑)

ポートと接続先機器がリンクしたときに点灯します。また、パケットを送受信しているときに点滅します。

○ FULL LED (緑)

ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯します。消光している場合は、Half Duplexで動作していることを示します。

③ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート

10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクターです。接続先の種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、ストレート/クロスどちらのケーブルでも使用できます。また、これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度と通信モードを自動設定します。

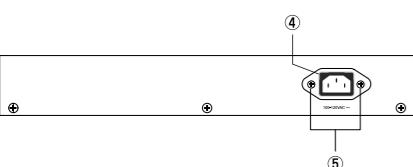


図 2 外観図(背面)

④ 電源コネクター

電源ケーブルを接続するためのコネクターです。

⑤ 電源ケーブル抜け防止金具取り付けネジ

オプション(別売)電源ケーブル抜け防止金具(AT-RTRN-01)の取り付けに使用します。

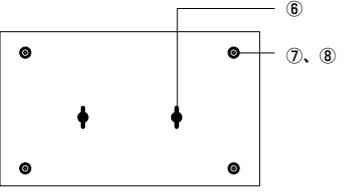


図 3 外観図(底面、ポート下向き)

⑥ 壁面設置穴(2箇所)

本製品を壁面に設置するための穴です。

⑦ ゴム足(4箇所)

⑧ マグネットKit取り付けネジ穴(4箇所)

オプション(別売)のマグネットKitを取り付けるネジ穴です。

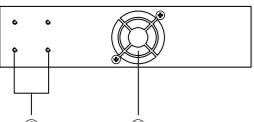


図 4 外観図(側面)

⑨ 19インチラックマウントブラケット取り付け穴(4箇所)

同梱の19インチラックマウントブラケットを取り付けるためのネジ穴です。

⑩ ファン

本体内部の熱を逃がすためのファンです。

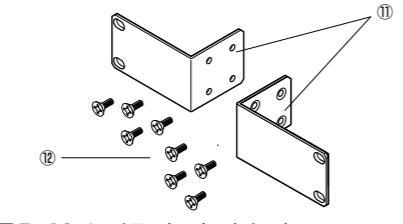


図 5 19インチラックマウントキット

- 底部を上にして設置しないでください。
- 充分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 直射日光のある場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクターの端子にはさわらないでください(静電気を帯びた手(体)でコネクターの端子に触ると、静電気の放電により故障の原因となります)。

設置

● 平らなところに設置する

本製品をデスクの上などに設置して使用する場合は、必ずゴム足がついていることを確認してください。衝撃を吸収するクッションの役目をします。

マグネットキットとゴム足は同時に使用することはできません。

● 19インチラックに取り付ける

本製品は、同梱の専用19インチラックマウントキットを使用して、EIA規格の19インチラックに取り付けることができます。

1. 電源ケーブルや各メディアのケーブルをはずす

2. ブラケットを取り付ける

同梱の19インチラックマウント用ブラケットを付属のネジを用いて、本体の両側面にしっかりと固定してください。

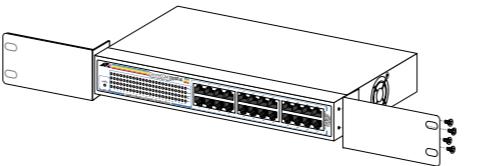


図 7 ブラケットの取り付け

3. 19インチラックに取り付ける

19インチラックの任意の位置に本体を合わせ、適切なネジ(別途ご用意ください)でしっかりと固定してください。

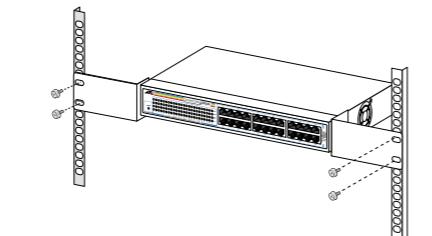


図 8 19インチラックへの取り付け

ブラケットおよびブラケット用ネジは必ず同梱のものを使い、19インチラックに適切なネジで確実に固定してください。固定が不充分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。

設置準備

● 設置するときの注意

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさせてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

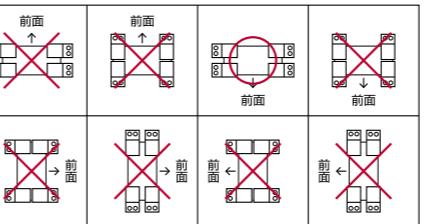


図 9 取り付け可能な方向

- 注意 壁設置ブラケットに取り付け用ネジは同梱されていません。別途ご用意ください。

壁設置ブラケットを使用する際は、本製品からゴム足を外してください。

警告 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因になります。

・壁設置ブラケットを使用して壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不充分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。

● スチール製壁面への設置

本製品のスチール製壁面への設置は、別売のマグネットKit XSを使用し、以下の点に注意して行ってください。

- ・マグネットキットの使用方法は、マグネットKit XSの取扱説明書をご参照ください。
- ・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

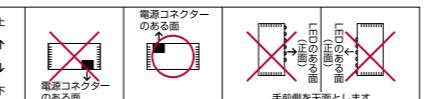


図 10 マグネットキットを使用する場合の設置方向

- 注意 設置面の状態によっては、マグネットの充分な強度を得られない場合があります。

警告 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因になります。

・マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。

タッピングスクリューによる壁面への設置

本製品は、壁面設置用タッピングスクリューを使用することにより壁面に取り付けることができます。

本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。



図 11 タッピングスクリューを使用する場合の設置方向

- 警告 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因になります。

注意 取り付けはしっかりと壁に行ってください。手で押しただけでへこんでしまう壁には取り付けないでください。

・石膏ボード、ベニヤなど中空になっている壁に取り付ける場合は、プラスチックアンカーを併用してください。

・タッピングスクリューはM3を使用してください。なお、本製品には、壁面設置用タッピングスクリューおよびプラスチックアンカーは同梱されていません。使用の際は、お客様にてご用意ください。

1. 設置場所と設置方向を決める

電源ケーブルおよびUTPケーブルの接続が可能であること、また、LEDの表示が監視可能であることを確認してください。

2. タッピングスクリューをねじ込む

タッピングスクリューの間隔が本体底面にある2箇所

の壁面設置穴の間隔と同じ様にタッピングスクリューをねじ込みます。このとき、ネジと壁の間を1mmほど残してください。

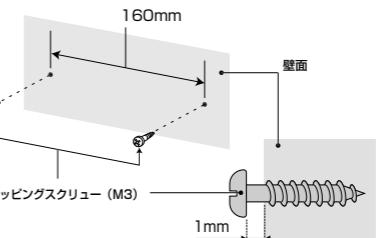


図 12 タッピングスクリューの間隔

● UTPケーブルのタイプ

本製品はMDI/MDI-X自動切替機能をサポートしているので、接続先の種類(MDI/MDI-X)を意識することなく、どちらのケーブルタイプ(ストレート/クロス)でも使用できます。

● UTPケーブルの長さ

本製品とネットワーク機器を接続する長さは100m以内にしてください。

電源ケーブルの接続(本製品の起動)

本製品は、電源ケーブルを電源コンセントに接続することで電源が入ります。

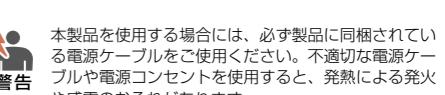


図 13 本体の取り付け

1. 本体側の電源コネクターを接続する。

図 15 の①をご覧ください。

2. 電源プラグを電源コンセントに接続する

図 15 の②をご覧ください。このとき、本体前面のPOWER LED(緑)が点灯することを確認してください。UTPケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートのLINK/ACT LED(緑)が点灯します。

本製品の停止

本製品を停止するには、電源コンセント側の電源プラグを抜いてください。

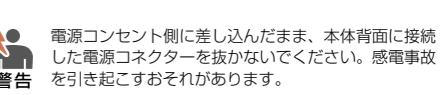


図 14 接続

7 カスケード接続

本製品は、全てのポートでMDI/MDI-X自動切替機能をサポートしていますので、ケーブルの種類(ストレート/クロス)および接続先のポートの種類(MDI/MDI-X)を意識することなく、簡単にカスケード接続ができます。

・スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限はありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

・カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアブリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。